

豊橋市長選挙
選挙公報

令和6年11月10日
執行

豊橋市
選挙管理委員会

わくわくする未来を諦めない
成長4大プロジェクト!!

豊橋大開発!

豊橋東西駅 → 西・ロータリー大改革 / 東・日本一の屋台街
東西連絡地下道の検討

道の駅とよはし周辺 → 駐車場・観光施設を増設!

技科大周辺 → 企業研究所を大規模誘致!

道路インフラ → アクセス道路まで高架・無信号化の検討!

税金のムダ使いを許さない!!

動物園13億の赤字 ふるさと納税10億の赤字

4つの必須施策

①景気・物価高騰対策 ②防災対策 ③農業・環境全力サポート ④医療・福祉・介護

より暮らしやすい豊橋へ!

●高齢者バスタクシー券復活 ●学校給食費実質無償化
●大規模なプレミアム商品券の発行 ●公共交通大改造(路線・本数増)
●全世帯に防災セット配布 ●農業支援予算を別枠で2億確保
●ゴミの個別収集 ●ビンカンボックスの復活を検討
●保育園・こども園の入園調整見直し ●児童クラブ・放デイの拡充

経歴

●東陽中学校卒 ●豊橋東高校卒 ●名城大学理工学部卒 ●(株)一条工務店

●市議会議員12年以上!
(歴代最年少議長)
●大村秀章秘書6年以上!
●企業経営12年以上!

自民党推薦

わくわくする豊橋の未来を動画等でわかりやすく解説

市長選挙候補のうちSNS動画配信数No.1

近藤ひさよし SNSリンク一覧

近藤ひさよし (45歳)

この閉塞感のある社会を打破する富の再分配と。見つけたから、市長選に出ることを決めました。アベノミクスとらえても庶民になかなか金が流れてこない仕組みになっている様です。円安で輸出企業がもうかっているならば税金で輸入企業、庶民に還元すべきではないでしょうか? 富の再分配でこの30年のガマンの生活を終わらせたいです。教育無償化の立場から給食費無償化の流れがあります。ユニークな市長・町長がはじめたことが、全国的な流れになっています。富の再分配もその流れに全国的な流れになってほしいです。市政にあたって、ここ数年で豊橋の人口が減少していくことと前提に取り組まなければなりません。

○アリーナとパーク500に建設し、馬尼からのフットボールをつくる。
○規格外の農作物と給食用に購入し、給食費無償化する。
○教員の負担を減らす。
○小・中学校で「企業」「マイナスイ」の特別授業を行う。
○年収1000万円未満のインボイス取得者の減税。

くらちまこは 富の再分配で経済を回す力に

高1、小6、小4、年長の二男二女の子育て中。

東田小・青陵中・豊丘高卒

くらちまこは 65才

市長を代えよう

公約守ろう ●給食無償化 ●新アリーナ

市長が代われば \楽しい子ども時代を過ごせる豊橋に/

自分たちのことを自分たちで決められるまちに

◆新アリーナ計画の中止(契約解除等) ◆吉田城址をもっと感じられる豊橋公園に ◆球場・武道館・テニスコート再整備を含む豊橋公園のあり方検討 ◆自治会・PTAの負担軽減・スリム化 ◆小・中学校再編とスクールバス導入の話し合い

◆吉田城100年復元計画 ◆水上ビルの文化的価値向上の支援 ◆市営の合葬墓の設置検討 ◆豊橋空襲の日(仮称)の制定 ◆市民病院での緩和ケアを拡充 他

元気・便利で住みやすいまちに

◆ごみの戸別収集(希望者向け・有料・一部地域からでも) ◆公園をきれいに(墓煙や除草) ◆令和5年6月豪雨を踏まえた、水害対策 ◆渋滞の改善(259号線、明海老津28号線、臨海道路の整備拡幅促進など) ◆浜松湖西豊橋道路への丁寧な対応 ◆スマートICを活かした商業施設などまちづくり

◆コミュニティバスの充実(西小坂駅への延伸など) ◆駅前公共駐車場の値下げ ◆地元産有機米の学校給食導入(いすみ市モデル)にトライ ◆仕事づくりのため、市内企業の上場支援 ◆消防団員の負担軽減 ◆市の窓口サービスの向上 他

徹底的に子どもを守り、育むまちに

◆小・中学校体育館等へのエアコン導入 ◆いじめへの毅然対応(学校外との連携含む) ◆リモート学習体制の強化 ◆児童相談所の設置 ◆子ども条例(子どもの権利条例)策定 ◆子ども夢パーク(川崎市)のような不登校も含む居場所づくり

◆放課後児童クラブの拡充・支援強化 ◆子ども食堂への支援強化 ◆スケボーなど青少年の居場所づくり ◆自習スペースを公共施設で充実 ◆イマージョン教育の拡充 ◆のんぼいパークを日本一のサイエンスパーク(科学教育拠点)へ 他

◎内閣府 地域活性化伝道師 ◎豊橋市議10年 ◎家族:妻・子・子 ◎駅立ち年300日 ◎ブログ1700記事更新 ◎中野小、南陽中、時習館、東京大卒 大学卒業後、都内コンサルティング会社で沖縄離島の観光振興や大手メーカーのマーケティング支援に携わる。2012年商店街マネージャーとして豊橋へUターン。15年の豊橋市議選に最年少・無所属にて新人トップ当選(全体8位)。19年現職トップで再選(同2位)。23年歴代最多得票にて3期目へ。2024年11月、新しい豊橋市長になる。

長坂なおと 無所属 41才

主要政策

・共働き・子育てしやすいまち、日本一の実現
・農業シリコンバレー構想の推進
・豊橋公園東側エリアの全面再整備によりスポーツ・エンタメの拠点をづくり、まちなかの賑いを創出
・豊橋総合動植物公園を日本一魅力ある施設に
・スマートインターチェンジを核とした北部地域の大规模改造計画をはじめとする産業基盤政策を積極的に推進
・道路・港湾などの社会基盤整備を戦略的に推進 自然災害に対する防災力、日本一のまちに

子育て・教育

① 子育て世代への経済的支援の充実
② 視聴覚教育センターや地下資源館等を豊橋総合動植物公園内に最先端科学教育拠点として再整備
③ 放課後児童クラブ・子ども食堂への支援強化
④ 不登校児童・生徒等の居場所づくり
⑤ 小・中学校体育館等への冷暖房設置
⑥ 幼稚園、保育園の目標に立った支援策の推進

農業

① 農業スタートアップの日本一の集積地を実現
② 豊橋産農産物のブランド化と地産地消の促進
③ 農業人材の確保と育成
④ 田園都市にふさわしい農村共同体の維持

スポーツ・エンターテインメント

① 豊橋公園東側エリアのスポーツ環境を最先端に全面リニューアル
② プロスポーツ・コンサートなどの開催によるライブの感動を市民に提供
③ スケートボード・BMX・eスポーツ環境の整備

広域連携

① 市境、県境を越えた近隣市町村との共同事業の推進
② 国・県との連携による駅前大通りのリニューアルやまちなか再開発事業の推進
③ 東三河8市町村の連携加速

多文化共生

① 外国人への日本語教育等による生活支援と雇用支援などを強化し、多文化共生先進都市へ
② 多言語での情報発信の更なる充実

インフラ・産業拠点

① 新たな産業用地の整備促進
② 23号バイパス全線開通・4車線化、浜松湖西豊橋道路等の幹線道路の早期実現
③ 豊橋新城スマートIC(仮称)開通に伴う地域活性化拠点の整備
④ 三河港、臨港道路の整備促進

にぎわいづくり

① 豊橋総合動植物公園の魅力向上により、日本有数の観光スポットへ
② 路面電車・路線バスなどの公共交通等への支援を大幅に拡充し、利用を促進
③ 「ロケのまち豊橋」を全国に発信
④ まちなかに多世代交流拠点を整備

医療・福祉

① 東三河の高度医療を支える豊橋市民病院の更なる充実
② 高齢者・障がい者への生活支援及び予防医療・介護の充実
③ 医師会・歯科医師会・薬剤師会との連携強化による地域医療の充実

《浅井よしあきプロフィール》
1962(昭和37)年 豊橋市生まれ
岩田小、豊岡中、豊橋南高校、早稲田大学政治経済学部を卒業。大学卒業後、民間企業勤務を経て1990年に豊橋に帰郷。以来、様々なまちづくり運動に参加。2007年愛知県議会議員に初当選。以後、4期当選2020年11月より豊橋市長に就任。

浅井たよし

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。

投票日 11月10日(日)

投票時間 午前7時～午後8時